

# 社協だより 萩

Vol. 49

2013  
4/1



## ボランティア交流会 仲間づくりから地域づくり

昨年度から、萩市ボランティア交流会を開催しています。参加者同士が互いの活動について情報交換し、より多くの皆さんに活動を知っていただくボランティアまつりの企画も話し合われました。

こうして地域で活動する人とひとがつながることで、互いに支え合う地域づくりが進んでいくでしょう。

あなたも一緒にボランティア活動に参加してみませんか。

# 新たな範囲で進む

## 小地域福祉活動

萩市では、50世帯未満の町内会等は全体の約7割を占めています。また、近所付き合いが少なくなる中、平成22年度から新たな範囲で福祉活動が展開されています。今回は、川上地域を紹介します

広くなった萩市ですが、生活を基盤とする地域の福祉活動は、全市統一に行くことは必ずしも効果的ではありません。

地域の文化や生活圏、生活様式がよく似ている概ね小学校区程度の範囲で、柔軟に地域に合った福祉活動を展開していくことが、全国的にも求められています。

### 7つのモデル地区指定

平成22年度から3年間のモデル指定を受けた7か所では、小地域福祉活動推進委員会が結成されています。この委員会で月1回程度の話し合いが重ねられ、アンケート調査や座談会などを通して、取り組む課題を決めました。

### 川上地域

林業が栄え、山林が70%を占める川上地域は、約450世帯、人口950人、高齢化率43%です。川上地域福祉活動推進委員会は、コミュニティ協議会、手をつなぐ育成会、サロンお世話人、社協役員などの6人で進めています。



### さくらまつり

阿武川沿いの桜並木で、趣味グループによる大正琴などの演奏やカラオケ、婦人会が作られた昼食を囲んで、楽しいひと時を過ごしています。

このさくらまつりも今年で3回目ですが、保育園や児童クラブの子どもたちも参加するなど、地域の交流の場にもなっています。

### サロン応援講座

お世話人同士でサロンの活動内容の情報を交換し、悩みごとについてアドバイスし合ったり、サロンを行っていない地区にも魅力を伝えるための講座を開催してきました。

今では、全15地区のうち13か所でサロン活動が行われ、中には月3回行われるサロンもあるなど、地域の皆さんによる自主的な取組みが進んでいます。



モデル指定7地区





こうした中、住みよい地域づくりのためには、民生委員や福祉員だけでなく地域住民一人ひとりが積極的に活動に参加することが、極めて重要になっています。

そこで、皆さんの身近なご近所で、たくさんの「つながり」ができるよう支援します。

## 「つながり」を育む

私たちの地域社会では、少子高齢化が進行し、一人暮らしと夫婦のみの世帯が全体の半数を超えています。また、2020年には全国で一人暮らし世帯が最も多くなります。

ご近所に気がかりな方はいませんか？  
日頃からのご近所付き合いが大切だと、よく言われています。そのために、ご近所で出会う機会を増やし、顔見知りの関係を作りましょう。

# 新 ご近所サロンを 推進します！

## ご近所サロン

新たなつながりを育むため、身近なご近所で住民同士が出会う場づくりを進め、仲間づくりを図ろうとする活動の経費を補助します。

会場	気がかりな方や有志の自宅
参加者	3～5人程度（気がかりな方を1名以上仲間に入れる）
回数	年3、4回程度
補助金	上限10,000円/年（参加費を徴収すること）
補助金申請	12月末までに社協へ

※既存の親しい仲間や趣味グループ、サロン活動など、またそれらから派生している少人数の集いは対象外

## ホンモノの支え合いづくり



報告 3/17

### 見守り・支え合い 活動普及啓発推進セミナー

講師の酒井保さん

今、「地域の支え合い」が様々な場面で注目されています。今回、ご近所福祉クリエイターの酒井保さんを講師にお招きし、研修会を開催しました。

### 60% 理論

酒井さんは、互いの「できる」を引き出し合って交換し合うのが、支え合いの極意だ！と力説。誰もがやがて老い、100%できていたことが徐々にできなくなります。仮に60%、70%でも、できる・できないことの中身が違います。そこで互いに「できる」を交換することで、できないことを埋め合わせたら100%以上になるというのです。

ホンモノの支え合いづくり5つのポイントが示されました。

#### ① 「支え合い」の本質を理解し、「支えられる」学習を

支え支えられて支え合い。支えたい、助けたいニーズは多い。支えられる側の気持ちも学習することが大切。

#### ② 「助けて！」が言えないことを理解

いざとなると他人に助けを求めることは、なかなか難しいということを知る。

#### ③ 「豊かさ」の意味を共有

周囲との関わりの中で存在が認められ、その人なりの役割とその評価があること。

#### ④ 自分の「できる」を主張

遠慮せず、自分ができること、得意なことを発揮すること。

#### ⑤ 自分の「できない」を隠さない

自分のできないことを他人に知ってもらうこと。それが他人のできることが発動されるきっかけとなる。

最後に、「人」の「為」と書いたら「偽り」となることを紹介。自分自身のこととして考え、実践してくださいと結ばれました。

# 地域の福祉 あれこれ

## 2/14 「見守りたい」あなたへ

須佐

2月14日に「萩市こころの健康づくり見守り隊」研修会を行いました。  
 萩病院の水田臨床心理士から、傾聴する際に大切なことを教えていただきました。講義の後には、実際に話し手、聴き手、観察者に分かれて、それぞれの立場を体験してみました。  
 相手の反応によって話しやすさが違ったり、また、つい自分の意見を先に言ってしまうと、傾聴の難しさを実感しました。



## 2/27 サロンがいきいき

紫福

紫福地区では、現在7か所でふれあい・いきいきサロンが行われています。2月27日、紫福地域福祉活動推進委員会がサロン交流会を開催しました。



初めに、保健師さんから実技を交えて「すぐに使える体操やゲーム」を教わりました。その後、サロンをして良かったことや悩みごとなどについて情報交換を行い、互いに運営についてのヒントが見つかったようでした。今回の交流会では、これからサロンを始めようと考えている方も参加され、今後の活動が期待できます。



## 3/6 新しい友達ができました

萩

脳の健康を保ち、認知症予防に取り組む脳の健康楽習会第2期生の修了式がありました。  
 教室終了後に一緒に食事に行く方、一緒に新しいサークルに通い始めた方、ボランティア活動を始めた方など様々です。この教室を通じて出会い、仲間意識が芽生え、互いのことを気遣い、そしてつながりが強くなっています。  
 読み書き、計算などの教材は勿論、教室でのコミュニケーションは認知症予防に欠かせないことであり、それができた楽しい教室でした。



## 3/10 親子のきずなを大切に

川上

保健推進員さんの協力で、旭・川上地域の未就学児と親のミニミニ運動会を開催しました。  
 13組49名の親子が参加され、アンパンマン体操やパンくい競走などで、日頃、交流する機会が少ない子どもたちも大はしゃぎで楽しんでいました。  
 また、親同士も育児についての悩みを相談し合っていました。

最後に、子どもたち全員に絵本のプレゼントがありました。絵本を通じて、親子のきずなが更に深まることを願っています。



# 介護も料理も頑張っています。

いつ介護をするようになるか分かりません。苦勞しながらも、元気で頑張っています。

## 父は、私の励みです。

佐伯 清さん  
(むつみ・市上/71歳)



私が介護するなど夢にも思っていませんでした。今、妻が他界し、97歳の義父との2人暮らしです。

一日中、私の頭を巡るのは、三度の献立です。今では、レンジで野菜を柔らかくして、父が好む献立を中心に作っていますが、最初の頃は人に教えていただいたり、インターネットで調べたりの日々でした。きっと自分一人の生活では、食事もおろそかだったと思いますが、父のおかげで規則正しい生活ができています。

父は足の運動をしたり、投稿した短歌が新聞社に何度も表彰されたりと、私に立派な姿を見せてくれます。「お前が元気でいなければ」と父も心配してくれています。そして今、「100歳までは、自宅で元気に暮らそう」を合い言葉に、励まし合いながら元気に暮らしています。

## もう一度、旅行に行きたい

山根 晴夫さん  
(旭・蔵屋/80歳)



妻の介護を始めて6年が経ちました。初めの頃は、お互い思うようにいかず、口喧嘩をすることもたくさんありました。

私が一番心がけていたのは、食事です。カロリーを考えながら作ることは難しいですが、作ること自体は苦になりませんでした。子どもの頃に母親から教わった料理を思い出しながら作るのが、楽しい時間でした。今、妻が施設に入り、一人暮らしになりました。やはり、1人での食事は味気ないものです。

私は、特別これといった趣味はありませんが、旅行が大好きです。今までいろいろな国に行きました。友達との旅行も楽しかったですが、また妻と一緒に旅行の日を願っています。

## 4/24 国際盲導犬の日

1989年(平成元年)4月26日に国際盲導犬学校連盟の設立を記念し、4月最終水曜日を、この日と決めました。日本では、4月29日の祝日に各地でイベントが行われることが多いです。

盲導犬は、目の見えない人や見えにくい人が、行きたいときに行きたい場所へ行くことができるようにと、特別な訓練を受けています。そのため公共施設や交通機関、飲食店やスーパー、ホテルなど様々な場所に同伴することができます。

日本では、1939年(昭和14年)にドイツで育ち訓練を受けた4頭の盲導犬(シェパード犬)が輸入され、失明軍人に寄贈されたのが最初です。

また現在、日本で活躍中の盲導犬は約950頭います。しかし、必要としている人は、約7,800人余りと言われています。



## 5/12 民生委員・児童委員の日

大正6年(1917年)5月12日に民生委員制度の源といわれる岡山県済世顧問制度が始まり、当時の全国民生委員児童委員協議会は、昭和52年(1977年)に、この日を定めました。

民生委員・児童委員は、地域において悩みごとや困りごとなど、様々な問題を抱えている方々の立場になって相談のついでです。そして、福祉制度や子育て支援サービスを紹介したり、関係機関とのつなぎ役になっています。

また民生委員は、児童委員を兼ねることになっています。そして、民生委員・児童委員の中に児童福祉問題を専門に担当する主任児童委員さんがいます。いずれも任期は3年で、全国23万人、萩市民生委員児童委員協議会(事務局:萩市福祉政策課)では213人が活躍中です。



# 善意銀行 ありがとうございます

## 香典返し・玉串料返し・花料返し

寄付者の承認を得たもののみを掲載しています。  
※平成25年1月1日～2月28日受付分（敬称略）

氏名	住所	備考	金額
<b>萩</b>			
松浦 通孝	前小畑2区の3	母/ヨネ子	金一封
久保田菊江	大井浦上	夫/定昌	金一封
岡 誠	江向2区の2	父/星呂忠治	金一封
森 照正	濁淵	父/友廣	金一封
大野 博文	平安古西区の1	母/ニサヲ	金一封
杉本 博久	東京都世田谷区	伯母/俊子	金一封
柴田 延子	新川南の1	夫/悟	金一封
松浦 丈一	相島中	父/正明	金一封
岡藤美智子	上野の2	夫/興治	金一封
村上 和子	新川南の1	夫/義夫	金一封
濱野 和生	見島8区	祖父/洋	金一封
平原ミヨ子	大井後地	夫/久光	金一封
田村 博志	今古萩町の1	妻/君子	金一封
桶屋 正義	無田ヶ原口の1	妻/喜代江	金一封
河上 勲	江向3区の3	母/アヤ子	金一封
松崎 伸一	平安古東区の4	妻/瑞恵	金一封
佐伯 和之	中ノ倉の1	父/隆男	金一封
林 靖	川島2区の2	母/郁子	金一封
八木 宏	長山	父/正巳	金一封
波多野俊裕	新川南の1	父/恵造	200,000円
山田 紘	河内	妻/玲子	50,000円
宮木 勝	樽屋町	母/照子	金一封
岡 祥二	大井本郷	父/土男	金一封
古見 政子	中小畑の1	夫/忠久	金一封
井町 一正	中小畑の2	母/ハナコ	金一封
服部 末人	中津江の1	父/良輔	金一封
金子 公昭	城東北区の1	父/修治	金一封
村田 稔	平安古東区の1	母/末子	金一封
村木智恵子	鶴江1区の2	夫/寛	金一封
俵 勲男	中津江の1	義母/山田トミコ	金一封
出口 理子	大井馬場下	祖父/榮城	金一封
井町 澄子	後小畑の3	夫/満有	金一封
守永 幸子	平安古西区の1	夫/吉二郎	金一封
池田 純雄	山口市黒川	母/正代	金一封
柳林 浩一	堀内2区の2	父/信忠	金一封
野山 嘉孝	椎原の2	母/シマエ	金一封
藤田 英代	金谷の1	義妹/田辺貞子	金一封
萬屋 克彦	玉江浦1区の2	父/忠雄	金一封
永安 英資	浜崎新町の2区	父/満義	金一封
神崎 和輝	平安古西区の1	父/俊和	金一封
長岡竹次郎	土原3区の3		金一封

氏名	住所	備考	金額
小野 彰彦	東浜崎1区の2	父/孝和	金一封
野村 謙次	山田1区	母/久子	金一封
中村 正紀	堀内2区の2	妻/マリア・フェリサ九子	金一封
藤井 朝子	上五間町	夫/芳人	金一封
岩本 喜吉	椎原の1	父/文春	金一封
山本 隆道	三見中山	父/尚良	金一封
中村 巧	堀内2区の4	父/芳治	金一封
高松 静子	平安古東区の4	母/トキエ	金一封
三好 武利	川島3区の1	母/光江	金一封
匿名			30,000円
正木 義昭	三見石丸	父/庄二	金一封
匿名		母/古谷智恵子	金一封
東野 光雄	見島11区	母/トヨコ	金一封
大賀 正巳	見島3区	母/文子	金一封
江水 昭喜	見島1区	姉/政子	金一封

## 田万川

花房 紀子	要二	夫/和彦	金一封
松井 健	下本郷	父/清	金一封
椿 幸夫	松崎	妻/笑子	金一封
藤田 吉伸	尾浦	母/トメヨ	金一封
吉野 優子	要一	義母/フジ子	金一封
尾木 義典	土原1区の1	母/サダヨ	金一封
米倉 陽子	江崎平原	夫/稔	金一封

## むつみ

吉岡 之憲	岸高	父/亀夫	金一封
吉岡 英雄	岸高	父/常雄	金一封
有田多恵子	殿川	夫/憲郎	金一封
栗田 保志	三戸原	父/保夫	金一封
白井 一法	中郷	母/弓子	金一封
山本 均	後井	父/武	金一封
藤村 陵子	鈴倉	夫/安夫	金一封
吉松 忠	山口市大内矢田	母/美子	50,000円
上山 正	辻山	母/前子	金一封

## 須佐

岩本 敏	前地	母/チエコ	金一封
木下 綾子	弥富9区	夫/高士	金一封
植田 榮子	弥富9区	夫/聰	金一封
福島 洋子	弥富1区	父/正雄	100,000円
尾崎 喜雄	浦西	母/ミサヲ	金一封
奥山 明	弥富10区	母/住江	金一封
恵本久美子	山根丁西	夫/健司	金一封
柴田 茂昌	高山	妻/アツ子	金一封

小原 綾子	山根丁西	夫／洋	金一封
山本 美一	中津	義兄／貞治	金一封
御手洗和生	水海	母／ウメコ	金一封
大井 淳司	横屋丁	妻／浩子	金一封
宇野 健治	弥富5区	母／ツチコ	金一封
<b>旭</b>			
山根 俊男	長瀬	父／俊眞	金一封

堀 宏之	佐々並市	母／チエ子	金一封
大庭 忠夫	上横瀬	母／和子	金一封
倉重喜久男	長瀬	父／幸昭	金一封
<b>福 栄</b>			
鈴木 正義	西宗	母／咲代	金一封
西田 伸枝	田中	父／信美	金一封
品川 哲雄	永井	母／イセヨ	金一封

## 一般寄付

氏名	住所	備考	金額
<b>萩</b>			
匿名			2,000円
竹内 重信	城東南区の1		金一封
(株)明乳まつうら	濁淵		14,813円
匿名			1,000円
山口新聞社	下関市東大和町		50,000円
<b>川 上</b>			
溝部百合子	立野	見舞返し	金一封

氏名	住所	備考	金額
マルオ(有)	蔵屋		10,000円
(有)アイフィット山口	山口市平井		金一封
<b>む つ み</b>			
匿名			3,000円
<b>須 佐</b>			
河内 弘水	中津		金一封
齊藤 精	本町下	見舞返し	金一封

## 物品寄付

物品名	氏名	住所
<b>旭</b>		
チャイルドシート・子ども用イス	杉山 次朗	長小野

(香典返し・一般寄付合計 108件4,090,813円)

善意銀行は、地域福祉活動推進の貴重な財源となっています。どうかご協力ください。

## 国民たすけあい共同募金運動結果報告

平成24年度も本運動にご協力いただき、ありがとうございます。皆様から寄せられた募金については、萩市の地域福祉活動推進のために使われます。

地域	一般募金	歳末たすけあい募金	合計
萩分会	7,137,706円	6,177,767円	13,315,473円
川上分会	479,052円	258,476円	737,528円
田万川分会	1,472,488円	535,934円	2,008,422円
むつみ分会	1,186,304円	436,255円	1,622,559円
須佐分会	1,358,446円	419,277円	1,777,723円
旭分会	848,143円	403,018円	1,251,161円
福栄分会	892,960円	457,737円	1,350,697円
合計	13,375,099円	8,688,464円	22,063,563円

## 旭事務所が移転します

4月30日から、萩市社会福祉協議会旭事務所が、現事務所の向い(旧旭村ボランティアセンター)に移転します。

●移転先 萩市大字佐々並2494番地2  
TEL0838-56-0856 FAX0838-56-0857

## ボランティア活動をサポート

### 【ボランティア活動保険】

自発的な意思による無償のボランティア活動が対象です。ボランティア活動中や自宅からの往復途上の事故、熱中症による障害、地震などの天災によるケガや損害賠償責任を補償します。

●補償期間 加入手続き翌日～平成26年3月31日

●掛金 基本タイプ 1名あたり300円より  
天災タイプ 1名あたり450円より

### 【ボランティア行事用保険】

地域福祉活動やボランティア行事において、参加者のケガや賠償責任を補償します。

●掛金 1名あたり28円(最低掛金20名分)より  
●問合せ 萩市社会福祉協議会本所

## 編集室

「お互い様」これは「免除してあげる」と同時に「役割を奪う」ことにもなっています。援助、支えを受けることは避けられません。その立場になったときのことを考えてみましょう。

ご近所、町内会、小学校区……。様々な範囲で活動が始まっています。そこに、その人なりの役割があり、周りはそれを許容することが求められているような気がします。(た)



# 手作りロード

## あなたも散策してみませんか？



手作り市場実行委員会 代表 梅地真佐巳

田万川の江崎は、要二・上本町・本町を中心に商店が並んで賑わっていましたが、最近では行き来する人が少なくなりしました。

そこで、「軒先を利用して、素敵な手作りの商品を見てもらいたいな。」「たくさんの人が交流できるといいな。」と始めたのが、この市場です。今、春と秋に開催し、この春で5回目を迎えます。

一人で始めたので、最初は不慣れで大変でした。その後、回を重ねるたびに地元の賛同者が増え、今では実行委員会もでき、実行委員4名、運営委員2名、施設整備1名、経理1名の計8名で行っています。また、仕事があっても、協力を惜しまない地元の方のパワーに押され、商工会や行政の手助けも得ることができました。そのお陰もあり、去年は250人余りの人たちが来場してくださいました。出品者には、益田や津和野、広島など遠方からの人たちもいらつしやいます。

お客さんのアンケートにも、印象的なご意見がありました。

- ・ 起伏に富んだ街並みの散策が面白かった。

・ 地域の方の協力で成り立っているようだ。

・ すばらしい手作りの作品

・ 手作りの温かさが伝わってくる。

・ 地域活性化のために頑張っている。

私は、回を重ねるごとに仲間が増えていくことがうれしいです。そして、お客さんに「参加して楽しかったよ。」と言ってもらえることが、次回への活力となっています。

今後も、みんなが工夫を凝らしながら、作る人も見る人も楽しめる手作りロードを目指していきたいと考えています。

### 第5回 出品者募集

6月1日(土)・2日(日)  
10:00~16:00

申込み・問合せ先  
〒759-3112 萩市大字下田万1051  
手作り市場実行委員会事務局  
梅地呉服店(梅地真佐巳)  
TEL・FAX 08387-2-0305  
E-mail:tezukuri.ichiba@haginet.ne.jp

多くの方のご来場心よりお待ちしております。

